

附属キャリアチャレンジプロジェクト(FCCP)～最終回～

令和5年に入り、1月から2月にかけて附属キャリアチャレンジプロジェクト(FCCP)を5回実施しました。冬の季節ということで移動中に雪が舞うこともありましたが、無事に今年度のFCCP全10回を終了することができました。昨年度は、コロナ禍の影響で予定していた日程のほとんどが校内での実施となりましたが、今年度は感染対策を十分に講じた上で全ての回を長崎大学で実施することができました。環境の変化、慣れない人との関わり、初めて行う作業など戸惑うことも多かったと思いますが、回を重ねていくうちに生徒たちの表情もたくましくなってきました。今回は、1・2月に実施しましたFCCPの様子をダイジェスト版でお伝えします。

【第6回：1月17日(火)実施】…3人で協力して、仕分けや針取り、シュレッダー作業を頑張りました。



【第7回：1月24日(火)実施】

シュレッダー作業だけではなく、消毒液の補充作業も新たに行いました。



【第8回：1月31日(火)実施】…ラベルシール作りや掃除機かけも経験しました。



いつも取り組んでいるシュレッダーがけは、二人で協力して行います。回を重ねるごとに、二人の息も合ってきて、ちょうどいい量の紙を渡すことで、スピードアップにもつながり、何袋ものシュレッダーのごみが出ました。

【第9回:2月7日(火)実施】…作成したラベルシールを丁寧にかごの縁に貼ります。とても集中しています。



テーブルも消毒液を使って、隅々まできれいに拭きます。拭き残しがないように、手元をよく見て作業をしています。

【第10回:2月14日(火)実施】…挨拶も慣れてきました。緊張はまだありますが、笑顔で会話ができています。



来年度も FCCP は続きます。
また、新しい作業にも挑戦して
いきたいと思います。



次の人のことを考えてドアを押さえたり、シュレッダーの袋を率先して新しい物に取り替えたりすることもできるようになりました。

今年度の附属キャリアチャレンジプロジェクトは、2月14日(火)をもって終了しました。3年生は、これまで2年間、大学での実習を経験しましたが多くの成長が見られました。最終日には、後輩に着用しているエプロンの畳み方を教えるという場面が見られました。普段は、あまり自分から話をしない生徒ですが、後輩が間違った畳み方をしていると、「その畳み方は違うよ」と優しく教えていました。後輩は、先輩に教えてもらったことがとてもうれしかったようで、「私も来年は後輩に優しく教えられようになりたいです」と話していました。

